

経済最前線

富士北麓で展示会を初開催

酒類卸のマツムラ酒販(甲府市小瀬町、松村昌樹社長)は19日、富士吉田・ハイランドリゾートホテル&スパで、酒類総合展示会&提案会「富士北麓地域 酒類トレンドナビ2025」を初めて開く。富士北麓地域で開催を求める声が上がっていることや、同社の取引先が増えていることを踏まえて企画。飲料メーカーと飲食、宿泊関係をつなぎ、橋渡し役として各店のビジネスチャンスを生み出すことが狙い。実行委員長長の金丸義史さんに、開催の目的などを聞いた。

「当社は毎年、甲府市内で外食ナビを開催しています。飲食店の皆さまの繁盛をお手伝いすることをコンセプトに実施し、飲食店や宿泊業者などを対象に商品の特徴や楽しみ方などをご提案しています。5月に行われた『外食ナビ2025』は、飲料メーカーやワイナリー、酒蔵など110社が出展しました。県産酒はもちろん、クラフトビールやクラフトジン、ノンアルコール商品に高い関心があり、1100人以上の方に来場していただきました。酒類トレンドナビは、外食ナビをもとに企画したイベントで、外食ナビ同様、さまざまな商品をご提案します」

株式会社 マツムラ酒販

酒類トレンドナビ2025実行委員長 金丸 義史氏

■ 略 歴

IT事業戦略室責任者。2014年にマツムラ酒販に入社し、管理部で社内のデジタル化の推進やECサイトの管理運営に従事。2年ほど販売部で現場を経験したのち、再び管理部に戻り、業務の効率化を進めた。これまでに3回、外食ナビの実行委員長を務めている。47歳。



■ 会社情報

◎ 会社名 株式会社マツムラ酒販
◎ 住所 甲府市小瀬町1317
◎ 代表取締役 松村昌樹
◎ 創業 1927(昭和2年)
◎ 社員数 38人



品質を保った状態で商品を運べる「定温ボトルカー」

「富士北麓での開催は初めて。『お客さまから富士北麓でも酒類総合展示会を開催してほしいという声が上がったことに加え、弊社の市場が富士北麓エリアにも広がっていることから企画しました。同地域はインバウンド客の増加によって市場が活性化しており、さらに業界を盛り上げていくには観光客の潜在的なニーズを掘り起こす販売戦略も必要だと考えています」

― 当日の内容は。

「飲料メーカー約25社が日本文化を生かした商品などを紹介するほか、食品関連メーカーも約10社出展し、外食、宿泊業のニーズに応えるフードメニューを提案します。また、近年市場が急速に拡大しているノンアルコール商品のほか、モバイル

ルオーダーなど、飲食店のデジタルトランスフォーメーション(DX)を進める業務用備品も展示します。東京・銀座の人気店のオーナーによる、愛される店づくりの秘訣をテーマとした講演もあります。来場は外食、宿泊業、小売店関係者に限りですが、入場は無料です」

― 酒類業界の課題は。

「コロナ禍を経て、お店に来店して飲酒する機会は減少傾向にあります。お客さまの多様化するニーズに応え、お酒をコミュニケーションツールの一つとして活用してもらうことが必要です。お店が繁盛すればその地域も活性化します。そしてお店がさらに繁盛するといった好循環を生み出せるように、私たちが総合的にサポートしていきます」

富士北麓地域
酒類
トレンドナビ
2025

富士北麓地域初開催！ 外食関係者さま向け

酒類総合展示 & 提案会

入場 無料

11/19(水)

11:00~16:00

富士急ハイランドリゾート 2F
グランドバンケット「富士」

株式会社 **マツムラ酒販**

〒400-0836
甲府市小瀬町1317
TEL.055-241-7878